

# 「儲かる・休める・楽しい」農業へ（富士宮市）

R6.2.28訪問



お名前	アドリ株式会社 代表取締役 小河 麦人さん
就農した時期	2017年2月（就農8年目）
栽培品目	九条ネギ
栽培面積	10ha
販路	卸売業者、外食事業者
働き手	本人・社員18名

（写真提供） アドリ株式会社



▲「富士宮ネギネギ」  
富士宮市の外食店と開  
発したメニュー

## ■ 就農したきっかけ

大学時代、食料自給率についての報道を目にする機会が多くあり、日本の食料自給率の低さに食料安全保障の面から危機感を感じたことが、農業と向き合うきっかけとなりました。農業が儲かる産業になれば優秀な人材が集まり、自ずと自給率が上がっていくのではないかと考え、農業資材を販売する会社に就職し、コンサルティングなどを通じて農家の経営のサポートに取り組みました。しかし、それだけでは日本の農業の活性化や自給率向上という目標にはほど遠いと、8年間勤務した会社を退職し、自ら儲かる生産者の事例を作ろうと思い就農を決意しました。

## ■ 就農して苦労したこと

とにかく全てです。安定生産、働き手の確保、農地の確保、資金の確保、販売先の開拓、自然災害、近隣からのクレーム等、今でも苦労しています。

## ■ 今後取り組みたいこと

当社のブランドネギ「富士の雅(みやび)ネギ」を使ったネギ焼きである「富士宮ネギネギ」を富士宮市の外食店と開発しました。ご当地グルメとして広く展開し、地域経済を盛り上げていきたいと考えています。さらに、「富士宮ネギネギ」の冷凍品などネギを使った加工食品を国内流通だけでなく、海外へ輸出していくことを検討しています。

## ■ 新規就農を目指す方へメッセージ

何のために農業をするのか、「理念」や「信念」を練り固めてから事業を行うことをお勧めします。つらい事や心が折れそうになった時の支えになると思います。農業は素晴らしく、やりがいのある楽しい仕事です。ぜひ全力で楽しんで下さい。